

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子等に情報が掲載されることがありますので、ご了承下さい。なお、その際は匿名で公開します。)

研修名	オーストラリアインターン 2023 年夏季
------------	-----------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	4000 円	
現地通学費	25000 円	(研修先まで 60 分) バス電車
教養娯楽費	10000 円	美術館や博物館は基本無料
被服費	5000 円	夜が想像以上に寒かったためパーカーを購入
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	64000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ありませんでした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
日本で SIM を購入。しかし足りなくなったためスーパーで40GB を15ドルで買いました。現地で買った方が断然安いです。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
<ul style="list-style-type: none"> ・加湿器、フェイスパック(非常に乾燥しており、顔がガザガザになりました。パックはドラッグストアの安いものでも1枚4ドル程するため、日本で買った方が良いと思います。) ・カイロ(8月の朝晩は冷え込みます)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
特にないです。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題はありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
洗濯機の洗浄力が高く、ネットを使用しても衣類がケバケバになったため注意が必要。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
内定先での配属がグローバル部門に決まり、そこでの業務に向け、実践的な英語力を身につけたいと思ったからです。私は、以前から海外に興味を持ち、留学や留学生へのボランティアなどの経験を積み英語力を培ってきたが、ビジネスの現場に必要な英語力とは異なり、実践的な英語を身につける機会はありませんでした。そこで、このインターン留学を通じて、ビジネスの現場で必要とされる英語表現やコミュニケーション能力を身につけ、内定先で即戦力になりたいと考え申し込みました。
2) 参加するにあたっての目標はありますか。
ビジネス英語の習得
3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
日系メーカー

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。
語学学校
2) 主要な実習内容を記載してください。
事務業務(メールチェック、資料の校閲、Excelで資料作成、生徒対応)
3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
語学学校という事もあり、働いているスタッフも国籍が様々であり癖のある英語に少し苦戦しました。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

仕事内容の 8 割ほどが私達インターンのためにわざわざ用意した仕事という印象を受け、本当に会社のためになっているのか疑問でした。本当に助かっていると上司には言って頂けたが、正直本当に必要なことをしていたのか分からなかったです。私たちの担当者も他のスタッフに、助けが必要な仕事はないか聞いていたが皆ないと答えていたため、人手は有り余っているという印象を受けました。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

事務職だけではなく生徒対応も行ったためスピーキング力を培うことができました。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC845

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

Netflix で洋画をたくさん見て、そこで知ったフレーズや単語をノートにまとめました。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

語学学校の実習では事務作業がメインなため、他のスタッフの方や生徒の方と積極的にコミュニケーションをとることを心掛けました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今回の研修を応募するにあたり、海外で働くことに不安を感じ参加をためらっていました。しかし、今まで語学留学しか行ったことがなかったため学生生活最後に新たなことにチャレンジしたいと考え参加を決めました。会社ではマニュアルや研修などもないため周りの人に助けを求めながら 1 つ 1 つ仕事を覚えていきました。インターンシップを通じて、実際の仕事経験を積む機会が得られ、言語学習だけでなく、職業的な成長と異文化体験ができ非常に価値のある経験となりました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	60000 円	
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	7000 円	
現地通学費	20000 円	(研修先まで 75 分)
教養娯楽費	113000 円	
被服費	円	
雑費	円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	200000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 今までの貯金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地の sim カードを購入した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
現金をもう少し持っていけばよかった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーから危険地域の情報を聞いた。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
たまに回線速度が遅くなることもあったが、おおよそ不自由なく使えた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ご飯をたくさん食べさせてくれてとても嬉しかった。ファミリーの人は優しくとても良い家だった。感謝を言葉にして伝えることを常日頃から意識しておく、ファミリーと良好な人間関係が築けると思う。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

海外の働き方を学ぶとともに、語学力の向上を図るため

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

積極的にたくさんの人と話す。自分の意見を主張できるようにする。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

環境保護系の会社または環境省の職員

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

環境保護団体

2) 主要な実習内容を記載してください。

雑草除去、植栽、水やり、植物のケア、公園の整備など

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

休憩でティータイムの時間があるのが驚きだった。日本には少ない働き方かなと思った。同僚とお茶を飲みながら交友が深めれることはとても良いことだなと思った。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

シドニーはとても治安が良く暮らしやすかった。物価が日本と比べて高くお金をたくさん消費してしまった。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。
最後の一週間は言いたいことが割と言えるようになり語学力が向上したのが身にしみて感じた。

英語力／コミュニケーションについて
1) 申込時の英語スコアを記載してください。
IELTS6.0
2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。
単語帳や海外ドラマをたくさん見るようにした。
3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。
思ったことをすぐに口に出すようにした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>私はこのプログラムで得たものが大きく分けて二つあります。一つ目は、自分に対する自信です。慣れない海外での生活は、ストレスの溜まることもたくさんありました。しかし、問題が発生するたびに、自分で考え適切な選択を取ることができたので、自分今まで以上に信じていることができるようになりました。二つ目は、高いコミュニケーション能力です。私は英語が流暢に話せる訳ではないので、現地の人々とのコミュニケーションにはとても苦労しました。しかし、言葉が話せない分表情や身ぶりを使って会話することを意識すると、意外と誰とでも仲良くなるのが出来ました。このプログラムで得たものを自分の強みとしてこれからの人生に活かしていきたいです。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 21500 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5500 円	Wi-Fi が有料でした。(10ドル/週)
現地通学費	25000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	11000 円	動物園入園料、観光地アトラクション料金
被服費	0 円	
雑費	2900 円	消耗品、乾燥機利用料
その他	94000 円	例:お土産
その他	円	例:
合計	159900 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
通信エラーが何度か起こったこと
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: オンライン通貨取引 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
携帯キャリアのサービスで海外利用が可能であったため、SIM カードなどは特に準備しませんでした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
貴重品を入れ、常に持ち歩くための小さめのショルダーバッグ、スーツケースや手荷物の重さを測ることができるラゲッジスケールは準備していき非常に役立ちました。また、朝晩は気温が低く寒かったので、ヒートテックやダウンなどの防寒具は準備していき助かりました。ティッシュペーパーやシャンプー類などの消耗品は多めに準備したほうが良かったと思いました。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
現地到着後、現地に滞在している OKC のスタッフの方から注意したほうが良いことを教えていただきました。暗くなってからは一人で行動しない、貴重品は常に身に付けておくなどの注意をし、対策しました。実際に犯罪に巻き込まれることはありませんでした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題なく利用できました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

滞在先は非常にハウスルールが多く、最初は衝撃を受けました。ルールとしては、消耗品は必ず自分のものを使う、ルールが守れなかった場合ペナルティとして最低1ドル、最大8ドル程支払わなければならないなど様々でした。ホストファミリー所有の消耗品を使わせてもらうことや Wi-Fi は有料であったので少し多めに現地通貨を持ってくることをお勧めします。また、滞在先にあるだろうと思って持参しなかった洗剤やティッシュなどの消耗品が必要であったので、消耗品類は最低1~2週間分持参することをお勧めします。ホストファミリー同士は母国語(中国語)で会話をしていました。私は家でもできるだけ英語を使いたかったので自ら積極的に話しかけ、英語で話す機会を作りました。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

職業体験をすることで、より実践的な英語を学んだり、ホームステイで日常的な会話にたくさん触れたりし、現在の自分の英語力を伸ばす目的で申し込みました。また、海外での働き方は日本とどのような違いがあるのかを肌で感じることも目的として申し込みました。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

英会話力を高めること、間違いを恐れずにより積極的になること、オーストラリアの文化や働き方を学ぶことが今回のプログラムに参加するにあたっての目標です。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

飲食系またはサービス業など、人とのコミュニケーションが多い業界で働きたいと考えました。理由としては、飲食業界やサービス業界は人と接し、コミュニケーションをとる機会が多いと考えたため、オーストラリアで実際の現地の日常会話などを聞くことができたり自分の英語力や英会話力を高めたりすることができそうだったためこのような業界で働きたいと考えました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

飲食業界(カフェ&レストラン)で実習を行いました。

2) 主要な実習内容を記載してください。

お客様の注文を取ったり、料理やドリンクを席まで提供したりするなどの接客を主に行いました。時間のある時は、食器を洗ったり、カフェ内の掃除をしたり、補充作業をしたり、近くの公園にチラシを配りに行くなどといった様々な業務を行いました。

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

作業や業務の流れ自体はイメージしていたものや、日本との違いは特にありませんでした。しかし、接客の仕方やお客様との距離、コミュニケーションが日本とは異なると感じました。私は1年程日本で飲食業の接客をしていたことがあるのですが、お客様と店員という立場の違いを意識しながら接客をしていました。しかし、現地はお客様との距離が近く、そのためコミュニケーションも非常に多く、お客様というよりも来てくださる皆が家族のようであるかのように接客をしていました。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

<p>カフェでの接客は英語で話す、英語を聞き取る場面が非常に多く、英会話力やリスニング力を高めるのにとても良い環境だと感じることができたのが良かった点です。また、一緒に働いたカフェのスタッフの方々もとても親切で家族のように接して下さった点も良かったです。アクセントの強い英語を聞き取ることが初めての体験だったので大変でした。</p>
<p>5) プログラム参加の成果等を記載してください。</p>
<p>このプログラムを通して、英語を聞き取る力が一番身についたと感じます。ネイティブの方が話す英語もたくさん聞きましたが、それ以上に母国語が英語ではない方が話す、少しアクセントのある英語を聞き取る力が特に身についたと思います。また、カフェで行われる会話やコミュニケーションの取り方などを実践する力がついたと感じます。日本のように察する文化がないため、わからないことや疑問に思うこと、自分がしたいことなどを積極的に恥ずかしがらずに自ら話す、話しかけることに対する抵抗がなくなりました。</p>

英語力／コミュニケーションについて
<p>1) 申込時の英語スコアを記載してください。</p>
<p>TOEIC720点 英語検定2級</p>
<p>2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。</p>
<p>必修の英語の授業やその他の英語を主とした授業の予習をしっかり行い、わからない単語や熟語は英英辞典で調べ、それらの理解を深めるよう勉強しました。空いた時間に少しでも知っている単語を増やすために単語帳を見るなどしました。</p>
<p>3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。</p>
<p>実習でもホームステイでも、自ら話しかけることや、分からないことがあったらすぐに質問する、理解するまで聞き返すことを意識して過ごしていました。初めて聞いたフレーズやよく使われているフレーズは、毎回メモ帳に書き留めて、次回そのフレーズを使って話してみるなどの工夫をしました。これらを工夫したことで、自ら積極的に話す力を身につけることができたり、今まで知らなかった単語やフレーズを習得、実践的に使ったりすることができました。</p>

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>私はこのプログラムを通して、本当にたくさんのことを学び、様々な体験をすることができました。英語力、リスニング力はもちろん、海外での人とのコミュニケーションの取り方、接客の仕方などを肌で感じ、学び、実践することができ非常に充実した一か月間を過ごすことができました。私はこのプログラムを通して、より積極的になるということを目指の一つとしていました。一か月滞在してみて、日本とは文化も生活も異なるオーストラリアという環境が、とても私を積極的にさせてくれたと感じ、自分でも驚いています。この感覚を忘れずに日本でも努力を続けていきたいと思いました。このプログラムに参加を決めたときは、様々な不安がありましたが、今ではこのような素晴らしい経験ができて本当に参加して良かったという気持ちでいっぱいです。また機会があったら、次回は一か月ではなくもっと長い期間、滞在、研修したいと思えるくらい最高の経験になりました。不安で参加するか迷っているという方も、絶対に参加してみることをお勧めします。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30,000 円	主に平日、休日の昼食
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	4,000 円	現地 SIM 代(28 日 30GB+5 日 10GB)
現地通学費	15,000 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	20,000 円	ブルーマウンテンや動物園の入場料等
被服費	円	
雑費	円	
その他	円	
その他	20,000 円	例:お土産
合計	約 100,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ピザの申し込みに使用するクレジットカードが JCB では対応していなかったこと。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で 3 万円ほど交換して持参した。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地のスーパーで購入した。延長分はオンライン上で手続きをした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
オーストラリアではほとんどの店でカードを使用でき、現地の人もほとんど現金を使っている人を見なかったため現金を持っていく場合は最小限で良いと思った。気温差などで体調を崩すこともあるので総合風邪薬の様なものをもっていけばよかった。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ホストファミリー) 特記事項: 2 週間目くらいに風邪気味になった。熱はなかったのでホストファミリーに相談して薬をもらった。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省のたびレジに登録してオーストラリアの危険情報はメールで確認していた。個人的に身の危険を感じるような経験はなかったためシドニーは比較的治安がいい都市だと思います。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題なく使えた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

中国系の家庭でした。マザーとファザーは中国語を話せるようでしたが、家族の中の会話もすべて英語で、私の拙い英語も汲み取ってたくさん会話をしてくれました。自分だけのシャワーとトイレ、洗面台などを用意してくれたのでそこはとても恵まれていたと思います。私の場合、シャワーは 10 分程度、洗濯は週に 1 回といわれてました。(シャワーに関しては少し長めに入ってしまった事もありましたが特に何も言われなかったです。)家庭によって違うと思うので初日に確認するのがいいと思います。食事もとてもおいしく、食事に関して苦勞することはなかったです。帰りが遅くなりそうときや夕飯がいない時などは分かった時点でなるべく早く連絡をすることを心掛けました。又、帰りにお礼として渡す日本らしいカードも持参して最終日に書いてプレゼントをしたらとても喜んでくれました。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

自分の英語力に自信はなかったですが、せっかく留学をするなら語学研修だけでなく実践的な学びが出来るプログラムがいいと思い、このプログラムに応募しました。また、寮での生活よりも現地の家庭で、より身近でオーストラリアの生活を感じたかったのでホームステイのプログラムを選びました。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

1 か月という長期間、海外で生活したことがないのでまずは自立した生活を送りたいと思っています。また、このプログラムはインターンのプログラムなので実際の職場に行った時に受け身にならない様、自分から積極的に行動していきたいです。現地での生活を通してオーストラリアの文化に触れ、幅広い視野を持てるようになりたいです。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

チャイルドケア、カフェ

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

チャイルドケア(幼児教育施設)

2) 主要な実習内容を記載してください。

子どもの世話(2~3 歳児)、食事の補助、部屋や食事の片づけ、行事の準備の手伝い等

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

大まかな仕事の内容はイメージしていた通りでした。しかし、思っていたよりもたくさんの仕事を任せられて充実していたと思います。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

チャイルドケアでは子どもとのコミュニケーションが不可欠なので日常的に英語を使う場面が多く、スムーズに会話が多い中でも会話をしようという気持ちを持てたのがとても良かったと思いました。一方で、子どもと接するという面において常にけがなどに注意を払わなくてはならず、他の先生からの指示などもしっかりと聞きとらないうけなかったのが大変でした。また、私の勤務時間が平日毎日朝9時から17時でかなり体力的にも大変な時もありました。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

語学面では、2～3歳の英語とはいえ、初めはコミュニケーションがうまく取れない面も多々ありましたが、毎日コミュニケーションをとっていくうちにだんだんと会話も出来るようになったと思います。英語力が格段に上がったというわけではないですが、躊躇なく英語を話そうとする姿勢や、自分からコミュニケーションをとる意識は身についたと思います。また、子どもたちも人種が様々で、日本とは全く違った環境の中で貴重な経験が出来たと思います。

英語力／コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC 695

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

オンライン英会話を出来るだけ毎日して会話に慣れるようにしていました。

3) 実習／ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

研修全体を通して、わからなかったり、通じないことがあってもわかったふりはせずにぜったいにわかるまで聞き返したり質問をすることを心掛けていました。オーストラリアの人たちは英語が出来なくてもわかるまで優しく教えてくれて、出来ない事やミスをしてしまった時にでも全く怒られることはなかったです。また、自分のしたい事があったら素直にそれを伝えるなど、自分の意思をしっかりと伝えることが大切だと思いました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

オーストラリアでの滞在を通して一番印象的だったのは文化や人々の多様さです。渡航前から、オーストラリアは多民族な国ということは知っていましたが、いざ行ってみると日本人がほとんどな日本と比較すると全く違い、とても驚きました。そのような国民性もあり、初めての職場での勤務もたくさんの方がサポートをしてくれてとても充実した研修になりました。インターンでは自分から仕事を見付けに行く姿勢や積極的に行動をすることがとても大切なことだと学ぶことが出来ました。「間違えてもいいからとりあえずやってみる」という姿勢がむしろ褒められることもあり、様々なことに寛容な国で過ごしやすかったです。初めは子どもとの間に距離を感じたこともありましたが、後半は朝会うと駆け寄ってきてくれるまでに仲良くなることもでき、とても貴重な経験になりました。

ホストファミリーは日本に何度も旅行に来るほど日本が大好きな家族で、日本についてたくさん話してくれました。会話の中で、東日本大震災の話や政治的な話などをする場面もあり、私自身ももっと日本について関心を持ち、意見を持たなければいけないと考えさせられたこともありました。シドニー市内には日本食レストランや日本のブランドの店がたくさんあり親日な人が多いということもシドニーの過ごしやすい理由だと思います。

1か月の研修を通して出発前に想像していたよりもたくさんの貴重な経験をすることが出来、このプログラムに参加することが出来て本当に良かったと思っています。ほとんど海外に行ったことがなかった私にとってはすべてが新鮮な経験で学びも多かったです。観光地や自然、素敵な人がたくさんいるオーストラリアを、日本に帰りたくないと思えるほど大好きになりました。留学を考えている方はぜひオーストラリアも選択肢に入れてみてください。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 12,000 円	平日の昼食はホテルが夕飯はホストファミリーが提供してくれたため、土日などに1人で外出した時のみ食費がかかりました。
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約 6,000 円	
現地通学費	約 15,000 円	(研修先まで片道 80 分)
教養娯楽費	約 2,000 円	ミュージアムや教会、マーケットなどは無料で入れる場所が多かったです。
被服費	0 円	
雑費	約 1,000 円	インターンシップ先やホストファミリーへのお土産を買いました。
その他	約 10,000 円	日本へのお土産
合計	約 46,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

海外では電話番号の書き方1つから異なります。ピザは入国にあたって重要な書類となるため、記入ミスのないように事前に書き方を調べました。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 新宿にある外貨交換所で現金 50ドルを用意しました。

その他用意したもの: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

オーストラリアの携帯会社が販売している SIM カード(35 ギガ)をアマゾンで購入しました。そして、現地についてから SIM を入れ替え、携帯を使用していました。メッセージや LINE、SNS は問題なく使え、オーストラリア国内の通話は掛け放題、日本からの通話も受け取れるものでした。

WiFi はホストファミリーの方が用意してくれたものを、職場では職場の WiFi を利用していました。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

準備して行き、助かったもの: 小分けになっているお土産。職場ではお世話になった人が多かったため、1人1人に渡すことが出来ました。(私は日本っぽい絵柄が描いてあるポケットティッシュにしました)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

『地球の歩き方』を購入し、現地で起こりうる事件や問題等を確認しました。盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありませんが、貴重品は常に携帯するように心がけていました。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

インターネットの接続は、WiFi に繋いでいない状態だと日本に比べて重いように感じました。だからと言って全く使えないわけではなかったため、あまり不便を感じることはありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

・感想:とても優しい方で、食事を準備してくれただけではなく休日には一緒に出掛けたりもしました。仕事だけではなく「オーストラリア滞在」を楽しめるように、ご飯の献立や行き先 1 つにも工夫をしてくれました。また私のやりたいことや考えを尊重してくれる方だったので、1 か月を通して、とても生活しやすく楽しく過ごすことが出来ました。

・アドバイス:食の好き嫌いから家での過ごし方まで 1 人 1 人異なるため、ホームステイ初日にホストファミリーの方と、ステイの仕方について話すことが大切だと思います。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

海外で働いてみたいと思い申し込みました。今後社会人になってしまうと、海外に行くことが難しくなり、さらに働くことなど容易ではありません。だからこそ大学生という今の時期にそういった経験をしたいと考えました。また、海外の人と働く体験をしておくことで、大学を卒業して社会に出た時に、海外からの目線を持つことが出来るとも考えたからです。

ももとは語学留学も考えていました。しかし明治大学国際連携事務室の方に相談したところ、より実践的に英語を使いたいのならインターンに参加した方がよいとアドバイスをもらい、本プログラムに参加しました。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

以下の 3 点を目標としていました。

- 1, 海外の方の考え方や価値観を理解すること。
- 2, 自分自身の意見や考え方、日本という国をしっかりと伝えられるようにすること。
- 3, 1 と 2 を踏まえたうえで自ら行動できるようにすること。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

ホテルや販売といった接客業(業界不問)

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

業界名:ホテル業界

実習内容:AYS(At Your Service)部門、front desk 部門、concierge 部門、restaurant/bar 部門を 1 週間ずつ回り、それぞれの業務を学び、実際に働きました。さらにホテルで開催されたイベントに参加し、食事や飲み物の提供を行いました。

2) 主要な実習内容を記載してください。

・AYS(At Your Service)部門:AYS とは客室からの電話対応やアプリのチャットやメール対応などを行う部署でした。1 週目ということもあり電話対応は出来ませんでしたが、他部署に必要書類を届ける、ゲストにメールの返信を送るなどの業務を行いました。

・front desk 部門:チェックインとチェックアウト業務の手伝いをしました。具体的には身分証明書の確認や鍵の受け渡しなどを行いました。実際に複数名のゲストのチェックアウト業務を 1 人でやらせてもらうこともありました。

・concierge 部門:ゲストのスーツケースなどを倉庫に保管したり、客室に運びました。また、デリバリーの対応や郵便物の投函も行いました。さらに、チェックアウト時間を過ぎたゲストに時間を確認しに行くタスクなどもありました。

・restaurant/bar 部門:レストランでは朝食の受付や飲み物のオーダーを受けたり、テイクアウトコーヒーの販売も手伝っていました。バーでは、テラス席の準備をはじめとして、オーダーを受けたり料理や飲み物を席に運びました。食器を磨くなど食に関わる幅広い業務に携わりました。さらにパーティースペースに料理や飲み物を届けました。

・イベント業務:イベント開始前には、会場に集まっているゲストに軽食や飲み物を提供しました。また、イベント開始後にはコース料理の配膳や遅れて来場したゲストに会場案内などを行いました。

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

仕事内容について、私自身のイメージと特に大きな違いはありませんでした。しかし、インターンシップ先では様々な国からスタッフが集まっていたため「働く」ということに対する捉え方や考え方の違いを知ることが出来ました。特に日本では休憩よりも仕事を優先させるということが見られることもありますが、海外では休憩時間やプライベートの時間をとても大切にしているように感じました。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

・良かった点:ホストファミリーをはじめ職場の皆さんに恵まれたことです。ホストファミリーは私を本当の家族のように親身に接してくれ居心地の良い生活環境を提供してくれました。また、インターンシップ先でもスタッフの方々が、1つ1つの仕事を丁寧に優しく教えてくれたり、すれ違うと声をかけてくれたりしました。様々な国の人とともに仕事をするというのは簡単なことではありませんでしたが、最終日には皆との別れが悲しくなるほど、毎日が濃くとも楽しく充実した1か月でした。

・大変だった点:特にレストランやバーで働いていた時は食材や料理名の固有名詞に苦戦しました。知っている食材であっても言い方や発音が異なっていたり、日本では見たことないがアメリカでは有名な砂糖があったりしたため、ゲストと齟齬が発生してしまうことがありました。

・悪い点:勤務先やホストファミリーの情報が日本出発のギリギリにならないと教えてもらえない点です。働く場所によっては服装の指定などがあるため、教えてもらえるまで荷造りが思うように進められませんでした。さらに業務に関して職場に質問があったためメールを送ろうと考えていましたが、(勤務先を教えてもらい)メールを送ることが出来た時期が出発間際であったため、忙しい相手に返信を急がせてしまうことに繋がりました。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

様々な部署を体験させてもらうことが出来たため、ホテルがどのように運営されているのか学ぶことが出来ました。また、その場で学ぶだけでなく実践することが出来たため、週を重ねるごとにできる業務や経験が増えていきました。さらにスタッフが「やりたいならチャレンジしていいよ」という方々ばかりだったため、自分から積極的に行動しに行くようになりました。その積み重ねにより、新しいことに対して「やればできる!」と自分自身に自信がつくようにもなりました。

英語力/コミュニケーションについて

1) 申込時の英語スコアを記載してください。

TOEIC810点、英検準1級

2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

単語や文法の勉強はもちろんのこと、ラジオ英会話を聞いて耳を慣らしたり英語を話したりする練習をしました。

3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

特にインターンシップ先では挨拶と笑顔を忘れないようにしました。一緒に働く部署の方々に対してはもちろんのこと、他部署の方にも積極的ににかかわりに行くことによって、会話をしたり仕事をお願いされたりする機会が増えました。ホテルのことを何も知らない/できない立場であるからこそ、常に明るく前向きであることを心掛けるようにしました。そうすることでスタッフの皆さんにも好印象を残すことが出来、上記のようなチャンスに多く恵まれ、円滑なコミュニケーションや自身の英語力アップにも繋げることが出来たと思います。

ホームステイ先でも多くの会話をするようにしました。インターンシップ先での出来事や休日に出かけた場所の感想を伝えたり、日本とオーストラリアの違いについてディスカッションをしたりしました。また、ホストファミリーにホテルに行ったらどのような会話をするか一緒にシミュレーションしてもらったり、ホテルでよく使われるであろう会話や英単語などを教えてもらったりもしました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

「海外で働く、生活する」と聞くと不安を感じる方も多くいると思います。けれども実際に体験してみると、とても充実した時間になります。学びたい! 楽しみたい! という強い気持ちさえあれば英語に自信がなくても、インターンシップ先の方々は優しく受け入れてくれますし、ホストファミリーとも楽しく過ごすことが出来ます。そして、その1か月を乗り切ることで自分に大きな自信がつくと思います。私自身インターンシップを始めた当初は、ホテルに関する知識のなさやスタッフ同士の英語についていくことが出来ずに落ち込むこともありました。けれども、せっかくオーストラリアまで来ているのだからまわりの人々から多くのことを学び、楽しんで働こう! とマインドを切り替え仕事に向き合うことで、自然と業務に対する向き合い方や人々とのかかわり方もポジティブに変わっていきました。そういった姿勢を持つことによって、様々な部門の方と仲良くなり仕事をお願いしてもらえるようになったり、ゲストにも「インターン生だとは思わなかったわ」という嬉しい言葉までもらうことが出来ました。そして最終日にはスタッフの方々との別れが悲しくて涙するほど、かけがえのない1か月になりました。

ホストファミリーとも、いろいろな場所に行ったり食事をしたりなど仕事以外の思い出もたくさん作れると思います。

もし少しでも興味があったり、気になっている方は是非チャレンジしてみてください!

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20000 円	平日・休日とも昼ご飯は自費
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	20000 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	5000 円	動物園
被服費	0 円	
雑費	15000 円	お土産
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	66000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありませんでした。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 前回オーストラリアに留学した際の残りを使いました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
E-sim が便利だったのでそれを購入しました。現地の E-sim が安かったです。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本からのお土産はもっと持っていけばよかったなと思いました。意外とたくさんの人と出会えるのであるに越したことはないです。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ホストファミリー、OKC) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
持ち歩くリュックサックには鍵をかけていました。犯罪には巻き込まれませんでした。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に困ったことはありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

インド系の家庭だったのでカレーがほぼ毎日出てきました。結構辛かったです。でもいい経験ができたと思います。お土産はいろいろ持っていきましたが、エコバッグは特に喜んでもらえました。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

スピーキング能力の向上、またインターンシップを海外でできるというのはとても貴重な経験で自分の将来の就職活動に役立てるという目的で申し込みました。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

英語力向上、具体的にはリスニング能力を高め、帰国後に TOEIC では950点以上、加えて英検1級を取れるように勉強します。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

もともと教育業界に興味があったので、語学学校や現地校で働いてみたいと考えていました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

語学学校

2) 主要な実習内容を記載してください。

ひたすら Excel を使って書類作成を行いました。たまに生徒対応もしました。

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

電話対応や生徒対応が中心だと思っていましたが実際はほとんどデスクワークでした。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

良かった点はパソコン特に Excel の使い方を知れたことや、なれることができたことです。大変だった点はひたすらパソコンだったので目や肩が疲れました。

<p>5) プログラム参加の成果等を記載してください。</p> <p>いろんな国から来ている人が語学学校には来ていたので色々な英語を聞くことができました。</p>
--

英語力／コミュニケーションについて
<p>1) 申込時の英語スコアを記載してください。</p> <p>TOEIC895点、TOEFL77点</p>
<p>2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。</p> <p>ボランティアに参加して留学生との交流を深めたり、英語長文を読むことで少しでも Speaking 力や語彙力を強化しようとしました。</p>
<p>3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。</p> <p>分からないことがあれば何度も確認するようにしました。その日あったことやいった場所の説明をたくさんして Speaking 得意にできるように努力しました。</p>

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>行く前に英語の勉強やホストファミリーに連絡しておけばよかったと思いました。あとは私が最初に購入した E-sim は現地の電話番号がついておらず、連絡ができなくてとても困ったので E-sim を選ぶ際は電話番号がついているのかとかをしっかりと調べておくのがいいと思います。結局 E-sim はもう一つ追加で買いました。研修に関しては、デスクワーク中心であまり会話などはできなかったですが、それでもこのインターンシップから何かしら学んで帰りたいと思ったので、Excel の使い方調べて効率よく使えるようにしてみたり、英語を話しているのが聞こえたら仕事をしながらも聞くようにしていました。私は英会話がとても苦手なのですがそれでもなるべくコミュニケーションをとりたいとは思っていたので、ホームステイ先ではご飯終わって2時間くらいはリビングでホストマザーとテレビを見たりして一緒に時間を過ごすようにしていました。オーストラリアはいろんな国から来た人が多いのでいろんな人に会えていい経験ができました。これから留学に行こうと考えている方もいい経験ができることを願っています!!</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20,000 円	お昼は研修先で用意してもらえることが多かった
図書費	円	
学用品費	円	
携帯・インターネット費	4,000 円	
現地通学費	20,000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	15,000 円	
被服費	円	
雑費	円	
その他	30,000 円	例:お土産
その他	円	例:
合計	89,000 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地のスーパーマーケットで SIM カードを購入した。滞在先の Wi-Fi は無料で使わせてもらった。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
国際学生証、ビニール袋

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーに聞く。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
SIM カードの設定に時間がかかった。接続状況は満足だった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホストファミリーにはとてもよくしてもらった。研修で疲れていることを理解してくれ、基本的に自由に過ごさせてもらえて快適だった。ただ、マザーが疲れているときもあるのでお皿洗いなどのお手伝いをしたり、日本食を振る舞うなどこちら側もファミリーのことを考えて行動することで、良い関係が築けると思う。遠慮してしまったり、自分の英語で伝わるかが不安で思っていることを言えないときもあったが、一生懸命に伝えればとても親身になって聞いてくれるので、積極的に思ったことや必要なことは伝えるべきだと思う。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
短期のプログラムを探していた中で、語学留学のようなものと結局日本人の学生と授業を受けることになり、現地の人と関わる機会が少ないと聞いたことがあったため、授業を受ける形態ではなく、実践的な形式で海外の方と関わりたいと思った。
2) 参加するにあたっての目標はありますか。
目標ではないかもしれないが、親元を離れて自律した生活をする事、初めての海外での暮らしに挑戦してみたいという思いがある。
3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
ホテルなどの接客業

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。
ペット
2) 主要な実習内容を記載してください。
犬の送迎、ドッグパークでの犬たちの様子の撮影、犬と遊ぶ
3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
日本でいうペットホテルのような感じで室内で犬を預かる仕事かと思っていたが、車で犬を送り迎えしドッグパークに連れていくという仕事だった。ドッグパークではたくさんの方の同業者の方にあったため、オーストラリアではこのようなサービスが一般的なのだと思う。またこの業界に限らないと思うが、私の研修先では私に指示を出すとき以外はスペイン語が主で、みんなが様々な言語を話す点が日本とは異なると感じた。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
大好きな犬とたくさん時間を過ごせてとても楽しかった。研修先でも滞在先でも英語を使うことができるので、実践的なリスニング、スピーキング力は伸ばすことができたと思う。しかし、現地の同僚の方との待ち合わせや、ファミリーとの約束などでかなり時間に遅れられることもあり、日本との時間感覚の違いに戸惑った。

<p>5) プログラム参加の成果等を記載してください。</p> <p>スピーキング力という点では、ネイティブスピーカーにも自分の英語が通じるという体験ができたことで自信がついた。しかし、文法や単語力という点での向上はそれほど感じられていない。最も伸びたのはリスニング力だと感じる。日本人に頼らず、ホストファミリーや職場の方の話や指示を正確に聞き取らなければならない、ずっと英語に囲まれた環境にいられるのでリスニング力は向上した。また、日本でのバイトや課題に追われる日々から離れることで自分の進路についてじっくり考えることができた。</p>
--

英語力／コミュニケーションについて
<p>1) 申込時の英語スコアを記載してください。</p> <p>TOEFL ibt 75 点</p>
<p>2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。</p> <p>大学の授業で英語で開講されているものに挑戦するなど、授業を頑張った</p>
<p>3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。</p> <p>自分から話しかけるのは最初は勇気があるので、話しかけてもらったときは積極的に質問したり、自分のことを話した。</p>

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

<p>海外でのインターンシップというハードルが高く感じるかもしれないが、現地の方はとても親切で、つたない英語も親身に聞いてくれるので、不安に思う必要はないと思います。他の短期留学プログラムだと一緒に行く日本人学生と過ごす時間が多くなってしまいうイメージですが、このインターンシップでは基本的に月曜から金曜は働くことになり、日本人がいない環境に身を置くことができるのでとても有意義な時間を過ごせると思います。プログラムにはJETROへの訪問なども含まれており、渡航中に自分のこと、将来のことをたくさん考えることができたので、英語力の向上という点だけでなく今後のキャリアに生かせる期間になったと思います。一か月という期間は、今後長期の留学に挑戦するかどうかのお試しのような意味にもなると思い、私も実際に来年の長期留学に対する気持ちが高まったので、1, 2年生のうちに短い期間でも海外での経験をしておくとよいと思います。</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約5万 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約 1500 円	
現地通学費	約 2 万円 円	(研修先まで 約 70 分)
教養娯楽費	円	
被服費	0 円	
雑費	5 万7000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
ありませんでしたが、不安ではありました
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 換金しました その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
スーパーの方に詳しい情報を教えていただき、お得なものを買いました
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本食です 事前に準備(確認)したほうがよかったと感じたのはプラグです。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
正直特に安全面に関する情報は自発的に収集していませんでした しかし、手持ちかばんは常に体の前に持つよう心がけていました
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
不便な点はなく、スムーズに連絡を取り合っていました

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

相手に正直に気持ちを伝えることが重要だと教えていただくとありますが、1度で覚えてもらえるとは限らないので何度でも意思疎通を図ることが大切だと感じました。

いつでも、どこでも、自分から行動することを心がけてください

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

英語力を試すため、自分が今の時点で何ができるのか、どの程度社会に貢献できる人間なのかを知るため

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

経験が浅いなりに必要とされる人間になる

日常にまったく困らない程度の英語力を身につける

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

ホスピタリティー関係

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

ホテル

2) 主要な実習内容を記載してください。

ホテルの受付、バックオフィスの手伝い(資料作成)

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

根本は同じだと思います。

しかし、個人的にお客様の満足度を上げる方法が少し違うと感じました。具体的には日本の接客はお客様ファーストで気づかれないうちにサービスを提供する傾向があると認識しているのですが、オーストラリアでは心からの笑顔(日本流の営業スマイルではなく)とフレンドリーな挨拶を基本としてリクエストの応える形でより良い評価を得ることに尽力しました。お客様の立場を(良くも悪くも)自発的に考えて行動するのはやはり日本らしいと思いました。

また、電話対応が日本よりも簡潔だとも思いました。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

研修 2 日目から説明ほとんどなくして実践形式に変わったことがよかったけれど大変でした。お客様は私がインターン生で慣れていないということがわからない状態で接客を任されたのが驚きで、本当に自分の力で吸収し成長を促してもらいました。人を観察し情報を盗むことは簡単なようで難しく、特にコンピューターに疎い自分にとって機械操作を習得するのは大変でした。しかし、操作を誤り、間違ったゲストの銀行口座からお金を引き落とすというインターン先以上に迷惑をかけてしまった時でも怒られることはありませんでした。私にとってそれは衝撃でしたが自分で考え行動する(行動しなければ成長は一切見込めない)自省の力を養うための教育を行っているのが興味深く非常に感銘を受けました。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。

自省力
観察眼
積極性(挑戦意欲)
ポジティブ思考

英語力/コミュニケーションについて	
1) 申込時の英語スコアを記載してください。	
TOEIC	720(2023/7現在 830)
TOEFL	76
2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。	
友人と英語でチャット	
プログラム参加可能者に選んでいただいただけの英語力があるから自分はできると英語に対するマインドをポジティブにする	
日々の必修授業にしっかり取り組む	
3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。	
使えると思ったフレーズをほかの人からコピーして使う	
常に笑顔で自分から興味を持つ	
相手の意図をくみ取り会話、行動する	
できるだけ簡潔に話す	

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は今回のインターンに参加する際、自分に自信がなかったため不安なまま出発しました。しかし、研修から得られたものは多くその中で特に 2 つの点が印象的です。

1 つ目は物事のとらえ方です。小さな成功でも見つけたら褒める、失敗は成長の糧という当たり前と思われがちだけど難しいこの考えが全員に沁みついているのがとてもいいと思いました。2 つ目は同年代の人達の自立度です。誰に聞いても個々人の理論的なパーソナリティ分析に基づいた具体的な将来の展望を教えてもらえました。

この2つが内向的で視野の狭い私を刺激してくれました。この経験を言葉で表現するのは困難ですが確実に仕事スキルのみならず人間性を成長させられたと考えます。様々な人々と交流することで自分がどういった人間であり、何ができるのか知ることができたと感じます。

今後参加を検討される方には、ぜひ積極性と新しいモノへの強い関心を持ちインターンに臨んでほしいと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3800 円	
現地通学費	20000 円	(研修先まで 50分)
教養娯楽費	9500 円	
被服費	4000 円	
雑費	11000 円	お土産
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	93300 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本の空港で2万円両替しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
現地で SIM カードを購入しました。WiFi は、ホームステイ先では無料で使用させていただきました。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
解熱剤などの薬は持って行ってよかったです。冬でも日差しがとても強いため、サングラスや帽子を持っていたのもよかったです。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
治安がよかったため特別な防犯対策はしていませんでしたが、人混みや観光名所では、荷物は自分の前側に持つてくるようにしていました。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なく使用することができました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
<input type="checkbox"/> 寮・アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ホテル
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私以外に 2 人滞在している人がおり、学生の受け入れに慣れているホストファミリーであったため、不自由なく、かなり好きな様に生活させていただきました。Wi-Fi やお風呂と洗濯の頻度などのハウスルールは前もって聞いておくトラブルを避けることができ、良いと思います。また、夕飯の要不要は前日のうちに伝えるべきだと思いました。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
海外で働くことを通して、自分の英語力を理解し向上させること 国籍や文化の異なる人々と関わることで、自分の価値観を広げること
2) 参加するにあたっての目標はありますか。
自分の英語力に自信を持てるようになること 深く考えすぎて控えめになってしまうことが多いため、少しでも積極的に行動できるようになること
3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
ホテル

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。
中心地にある外資系のホテルで実習を行いました。
2) 主要な実習内容を記載してください。
午前はレストランでウェイトレスをし、午後はポーターやレーザーベーション、ハウスキーピングなど様々な部署で実習をさせていただきました。
3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。
私は日本でもホテルでアルバイトをしているため、日本との違いを感じる場面は多くありました。例えば、オーストラリアでは、ゲストとのコミュニケーションを大切にしている印象があり、積極的なコミュニケーションを通してゲストに、信頼やアットホームのような安心感を与えているのだなと実感し、素敵だなと思いました。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
良かった点は、英語を使って働くことを通して、将来に役立つようなより実践的な英語を身につけることができた点です。一方で、大変だった点は、自分がいなくとも十分回る状況で、自分にできることを常に探し続けなければならなかったことと、英語を、学ぶのではなく使って働くという点で、英語ができて当たり前という壁に当たったことです。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。
五つ星ホテルにおける、レベルの高いホスピタリティを学ぶことができました。また、ホテル内の様々な部署での知識や経験を身につけることができました。そして、説明や指示から自分の意見を伝えるところまで、全てを英語で行う環境に身を置いたことで、多少ではあるかもしれませんが英語力は向上したと思います。

英語力／コミュニケーションについて	
1) 申込時の英語スコアを記載してください。	TOEFL65/TOEIC810
2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。	オンライン英会話を毎日 30 分受講していました。
3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。	ホストマザーとは、自分から積極的に話題を振り、沢山コミュニケーションを取るよう心がけました。実施に現地の人が使用していた表現やスラング、発音などを真似することも工夫したことの一つです。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

この1ヶ月は、間違いなく今までで 1 番濃く、充実した1ヶ月でした。実習については、正直、滞在中に悩むこともあり反省する点もいくつかありますが、それも含めて、自分の今後に活かせるようなどにかく刺激的で貴重な経験をする事ができたので、このプログラムに参加して本当に良かったなと思いました。海外で生活し働くという経験は、現地の文化や価値観を学ぶのみならず、日本を見つめ直すことにもつながり、私にとって自分の将来を考えるきっかけとなったため、海外で働くことを視野に入れている人はもちろん、そうでない人やまだ決まっていない人にとっても非常に有意義だと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	4,000 円	Sim の契約日数 28 日分+7日分追加
現地通学費	20,000 円	(研修先まで60分)
教養娯楽費	12,000 円	休日の外出や観光地巡り、映画鑑賞
被服費	0 円	
雑費	42,000 円	お土産代 28,000 円+生活用品 14,000 円
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	118,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか

ピザの申請をする際に支払い方法がクレジットカードに限られているので海外ロックがかかっている場合は事前に確認が必要。また、参加者全員で一斉に申請をするのでインターネットコネクションが悪くなりエラーが頻発することもあった。

2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 当日に羽田空港の外貨交換所を利用。現金は30,000円分換金した。

その他用意したものを: クレジットカード デビットカード・キャッシュパスポート

3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか

シドニー空港に到着後に Vodafone にて 28 日分の SIM を購入して使用した。

4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

・S 字フック(ハンガーがかけられない場所などを利用するときに利用した。)

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

なし あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

貴重品はできるだけ体に近い部分に携帯するように心がけた。ボディーバッグなどに貴重品を入れて持ち歩いたり、リュックサックの深い部分に財布を入れるなどして防犯対策を行った。

3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

契約にもよるが、基本的に5G 回線が都市部では問題なく使用できた。一方でホームステイ先ではインターネットが繋がりにくい旨をホストファミリーに伝えたとこ Wi-Fi を借りることが出来たのでなら問題はなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は今回がホームステイをするのが初めてだったので過去の経験と比較することはできませんが、ホームステイをすることによって現地の暮らしやリアルな文化を肌を感じる事が可能であると感じます。食文化も違えば、生活習慣を大きく異なります。時にはホストファミリーと喧嘩をしたり、意見が合わなかったりとストレスがかかることもあります、それらが現地での生活のリアルなのだと感じることが出来ました。

これから留学する人に向けては日本の文化はあまり役に立ちません。特に空気を読む文化などは全く無いので、伝えることを優先していただきたいです。多少のことは感じ取っていただけだと思いますが、自分の考えていることや思っていること、不満なことはなるべく伝えて、お互いの妥協点や解決策を考えられるようにするとより良い経験が得られると思います。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

私は将来、入りたい業界や職種があり、その業界ではコミュニケーション能力が重要になってくるので海外にでて現地の人々との会話を通じて自分の語学力に加えて、コミュニケーションスキルを磨きたいと思ったからである。加えて、語学留学ではなくインターシップを選んだのはより実践的な経験を得るためである。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

私は渡航先の勤務地にて、いくつかの提言を与えることや自分自身に対する変化や考え方の違いなどの気づきを得たい。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

申込時には第一志望にホテルを書きました。基本的にホスピタリティ関係の職種を志望しました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

ホテル

2) 主要な実習内容を記載してください。

コンシェルジュ業務やポーター

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

日本のホテルと違い親切ではないと感じました。コンシェルジュをしている上司は日本人の方だったのですが、誰に対しても英語でしか話をしません。それは日本人のゲストに対しても英語での返答しかしませんので日本人のゲストの方からはなぜ日本語で話してくれないのか困惑する様子も見られました。しかしながら、英語だけを話すことによってどの国の人に対しても同じ基準で同じサービスを提供できているという意味の裏返しがあるのだと聞きすごく納得しました。

日本のサービスはある意味度が過ぎており、日本に帰ってきた今は逆にうとうといくくらいの時もあります。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

<p>・良かった点 現地の就業形態や仕事に対する姿勢や考え方を知ることが出来た。 単純な仕事を長時間することの厳しさや難しさを感じる事が出来た。</p> <p>・悪かった点 エージェントから言われていたように上司にこの業務もチャレンジしてみたいですなどと申告した際に、あなたはこのホテルの雇用ではないから、何か問題が発生した時に責任が取れないからこの仕事だけをしていれば良いと言われて落胆した。 他のホテルで働いている人の話を聞くと様々な業務を行える環境作りが為されていたのに対して自分の勤務場所はそうではなかった。</p>
<p>5) プログラム参加の成果等を記載してください。</p> <p>このプログラムを通して学んだことや成果は現地人の ON/OFF の切り替えがすごいということです。日本と違い残業などを行っている人はおらず、時間になったら普通に帰っていきます。日本の異常さを改めて感じたとともに、ワークライフバランスがしっかりととられていることで仕事の時に集中が出来ているのだろうと感じました。 もう一つは外国人に話しかけることに違和感を感じなくなったということです。日本はガラパゴス化していて外国人に対する違和感を感じやすいですが、実際に外国人の方と積極的に話しかけてみるとフランクで日本人よりも話しやすく、むしろ海外の人と話している方が面白いと感じたので自分のコミュニケーション能力の向上を感じられた。</p>

英語力／コミュニケーションについて	
1) 申込時の英語スコアを記載してください。	英検準 1 級 スコア 2432点
2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。	単語などのインプットよりも、動画を見て耳を慣らしたり、シャドーイングをしたりと実践的な英語の使い方を中心に学習をしていた。
3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。	難しい単語は使わないということです。自ら海外の人に働きかけることはもちろん必要ですが、ネイティブスピーカーと話していて気づいたのが簡単な単語やその単語を使った熟語を会話の中で多く使っているということです。 はじめは話すスピードが速く、聞き取れないなどありましたが 2 日目くらいからは聞き取れるようになり、問題なくコミュニケーションをとれるようになりました。また、日本以外の場所での適応力が向上していったということも成果の一つです。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

<p>私は今回の研修を経て日本や日本人に対する考え方や価値観が変化しました。日本の当たり前は通用せず、言語も文化も違う特にオーストラリアは半分以上が移民の国なので家に帰れば話す言語は多種多様になります。私がホームステイをしていたのはスリランカの方のお宅だったのでタミル語が英語の中に混ざっていたり、食事は日本に比べて少し辛い物が多かったりと私にとっては驚くべき発見がそこにはありました。一方で研修先のホテルでは更に多様な人々が働き、ホテルに宿泊をしに来るというそのような状況の中で英語という一つの共通言語を用いることによってプライオリティをナショナルリティによって決めつけないそのような考え方が広がっていることを教えられました。今後は一層、英語等の語学の勉強に励み、海外のみならず日本企業のインターンにも参加していけたらと考えています。</p> <p>最後に後輩の皆さまへのアドバイスとしては1度海外に出て生活してみるべきだと思います。期間は短くても長くても関係ないと思います。異国の環境とにかく飛び込んでみて直に感じたことを回りの人と共有したり、自分のやりたいことがそのことによって明確化もしくは見つかったりするかもしれません。留学というお金もかかるし準備も大変だと敬遠する方もいらっしゃると思いますが、留学先での経験は何事にも代えがたいものになると感じます。</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 35,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約 12,000 円	
現地通学費	約 22,000 円	(研修先まで 30 分、娯楽の交通費も含む)
教養娯楽費	約 60,000 円	休日の娯楽費、お土産代含む
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	約 130,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
クレジットカードが海外対応かどうかは前もって確認しておくべき。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 羽田空港にて換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード・キャッシュパスポート
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM カードについては到着日にスーパーマーケットで購入。Wi-Fi はホストファミリー宅についているものを、1 週間 20 ドルで使用していた。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
薄手の羽織るものは時間によって寒暖差が激しいシドニーにおいて大いに役立った。また、お土産としては日本のリラックスグッズが非常に喜ばれた。 床を掃除するための道具を持っていけばよかったと後悔している。

現地情報

1)活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
情報収集はオリエンテーションや外務省のホームページなどを見て行った。初めはスマートフォンや財布を容易くポケットに入れないうようにしていた。また、紐で鞆につけられるタイプのポーチを使用した。
3)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
SIM カードは 28 日間 40GB のものを購入し、通信速度や容量などは十分だった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

寮・アパート ホームステイ ホテル

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

生活面では満足している。食事は好き嫌いについても配慮してくれ、シャワーや洗濯もいつでもできていいと言ってくれた。滞在先は本当に人それぞれでオリエンテーションやサイトに載っていることが当たり前ではないため、初日にハウスルールはしつこく確認するべきである。また、Thank you を言うことを忘れてはいけない。英語力を伸ばしたいなら小さいことでもなんでも質問する(特にファミリー自身やその国についてだと喜んで回答してくれる)。

プログラムについて

プログラム参加前について記載してください

1) どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。

異文化体験をして自分の行動範囲を広げるため。海外に行ったことはなく、今までは日本で特に大きな挑戦はしてこなかったが、オーストラリアという多様国家に行ってその自由な個性を学び、自分の殻を破りたかったから。

2) 参加するにあたっての目標はありますか。

異なる文化社会において確固たる長所を見つけること。日本には何が長所なのか自信が持てずにいるが、異文化において能力を適応させることで長所をはっきりとさせ、また、新たな成長(コミュニケーション、マインド)を日本に持って帰ること。

3) 申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。

日本ではカフェのアルバイトをしていて、観光客の方が来たときに思うように接客ができないことが悔しく、接客の英語力を伸ばしたいと思ったためオーストラリアのカフェで働きたいと考えた。また、カフェはお客様と日常的な英語を交わすため、コミュニケーション力向上に良いと思った。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) どのような業界で実習を行いましたか。

オーストラリアの慈善団体が運営するカフェ

2) 主要な実習内容を記載してください。

一般的なカフェ業務(レジ対応、ドリンク作り、提供、フード作り、清掃)、カフェスタッフのマニュアル作成など

3) 業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どう異なっていると感じたか記載してください。

仕事内容については日本のカフェとさほど変わりはなかった。しかし、カフェオープンのマニュアル作成や団体の理念に合う商品を調べることなどは運営にも関わることのため任せられるとは思っていなかったが、とてもいい経験となった。

4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。

良い点は、最終日にマネージャーたちが詳細なフィードバックを行ってくれたことである。1ヶ月を通して自分では気がつけなかった成長を知ることができた。業務において大変だったことはお客様とのコミュニケーションである。複雑な注文だと聞き取ることが難しく、何度も聞き返していた。

5) プログラム参加の成果等を記載してください。
 英語力としてはカフェでの接客英語が身についた。このプログラムでは英語力よりも人間力が成長したと感じていて、例えば指定された仕事がないときに新しいタスクを見つけれられるようになった。

英語力／コミュニケーションについて	
1) 申込時の英語スコアを記載してください。	TOEFL 70 点
2) 渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。	カフェで働くことが事前にわかっていたため、接客英語を中心に学習していた。気軽にオーストラリア現地の動画を見ることや、好きな英語のドラマを見るなどしていた。
3) 実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。	毎日その日に学んだフレーズや単語をメモし、翌日には使うということの繰り返しをしていた。また、会話の中で相手の話を完璧に理解できなかったときは確認のために自分の理解があっているかどうかをしてのフレーズを交えながら喋っていた。「英語力」としての伸びは大きく感じていないが、「英語コミュニケーション能力」としては文化体験を通して成長したと感じている。

留学体験記

研修や生活全般、今後の展望等について、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今回の研修を通して最も得たことは自己主張である。渡航前に嫌と言うほど「海外では自分の意見を持って」などという言葉を目にした。聞いておきながらあまり深く考えていなかったが、実際にこの言葉通りだった。ホームステイ先でも研修先でも聞かれたことに対して自分の考えがすぐに言えないと大変気まずい雰囲気になっていた。この体験から、ここでは「自分の思ったことをはっきりさせてもいい」、「物事に対して逐一考えを持つ」ことの大切さを学んだ。日本ではどうしても「自分の思うことを毎回はっきり言う人は輪を乱す者として認識されてしまう」また、「完璧な知識がないから考えなど述べても仕方がない」などのように思っていた。しかしながら、完璧ばかりを求めて空気を読んでいたら絶対にプラスにはならないとオーストラリアで教わった。考えを持つと言うことは誰にでもできるが、自分にしかないもの(=考え)であることに気付かされた。だからこそ、文化が異なる日本でも自我を持つことは他の誰とも違うことであって、やりがいを感じる。そして自分の行動に自信が生まれるのだと思う。

オーストラリアの文化を学んだことで日本を客観視することができ、その違いの中で学んだ良いことを日本で活かせるまでが留学の醍醐味だと感じた。